

女流画家の歩み

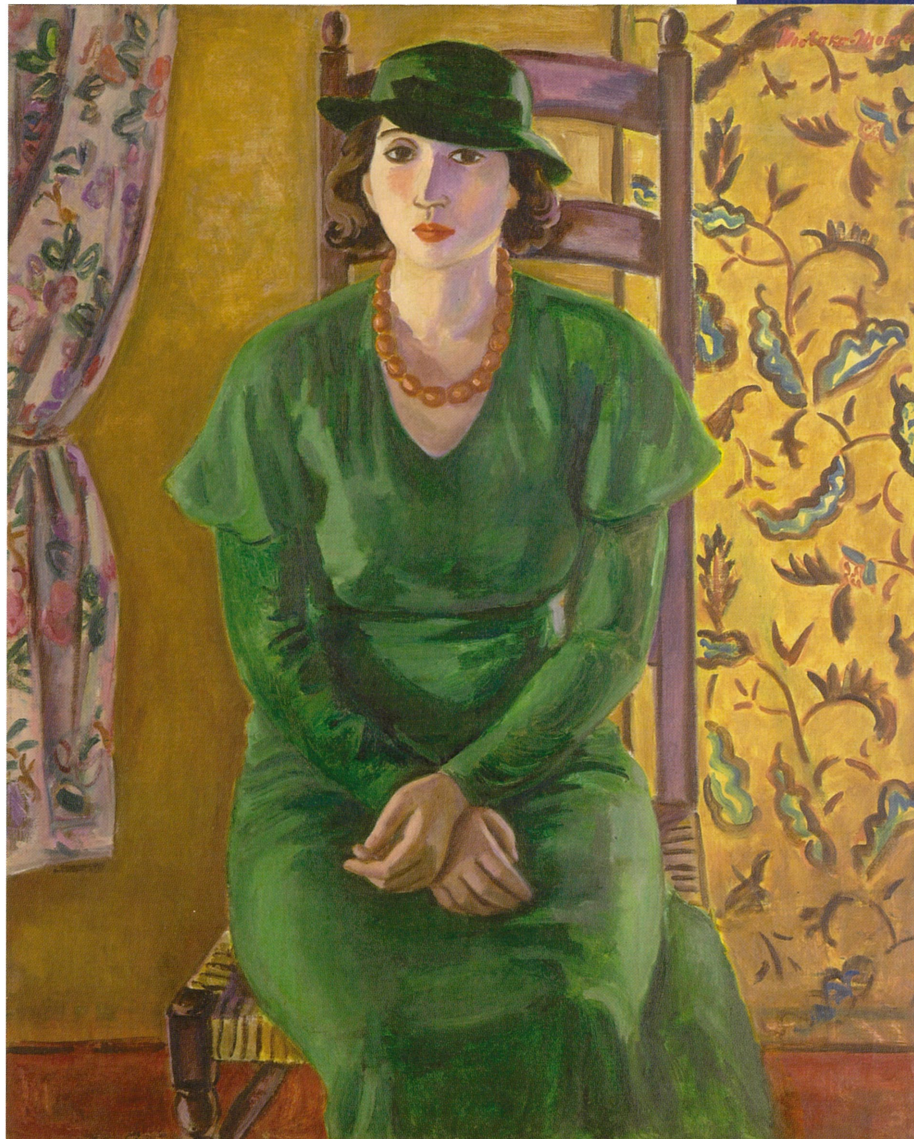
葦崎大村美術館

収蔵作品展

葦崎大村美術館

学校法人女子美術大学

相互協力協定5周年記念



森田元子《緑衣》1933年

2013. 6/19 水 ~ 7/28 日

JAM 女子美術ミュージアム

〒252-8538 神奈川県相模原市南区麻溝台1900

女子美術大学 相模原キャンパス

Tel. 042-778-6801

休館日 火曜日

開館時間 10:00 ~ 17:00 (入館は16:30まで)

入館料 一般500円

※学生・未就学児・65歳以上・身体障がい者手帳等をお持ちの方は無料

主催：女子美術大学、女子美術大学美術館

協力：葦崎大村美術館

後援：相模原市、相模原市教育委員会



学校法人
女子美術大学

大学HP: <http://www.joshibi.ac.jp/>



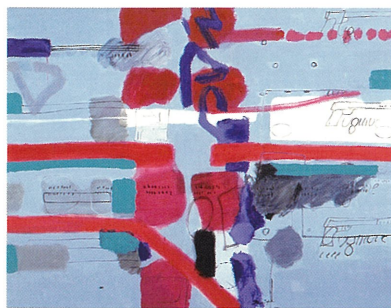
ラグーザ玉《薔薇》制作年不詳



丸木俊《シクラメン》1964年



片岡球子《面構 烏亭焉馬と二代団十郎》1994年



佐野ゆい《オペラ・ノート》1993年



堀文子《アフガンの王女》2003年
(大村コレクション)

三岸節子《花 軽井沢にて》1962年
©MIGISHI

葦崎大村美術館と学校法人女子美術大学は、平成25年10月に相互協力協定の締結5周年を迎えます。本展ではそれを記念し、葦崎大村美術館で所蔵する作品のなかから、女子美術大学出身者の作品を中心に約40点の絵画をご紹介します。女流画家の黎明期から現在に至るまでを顕彰します。時代の流れの中で、時にたくましく、時にしなやかに歩んだ芸術家の姿をお楽しみ下さい。

葦崎大村美術館

天然物有機化学の研究で世界的に著名な、大村智学校法人女子美術大学理事長（平成24年度文化功労者に顕彰される）が、郷里の山梨県葦崎市に2007年に開館した美術館。現在は、美術館・コレクション共に葦崎市に寄贈され、大村理事長が館長をつとめる。所蔵する作品は、全国的にも珍しい近現代女流芸術家の一大コレクションを誇る。

学校法人女子美術大学

女子美術大学の前身である私立女子美術学校は1900（明治33）年、美術を専門的に学ぶ女性のための日本初の高等教育機関として創立。以降、110余年にわたり、「芸術による女性の自立」「女性の社会的地位の向上」「専門の技術家・美術教師の養成」を建学の精神として、多くの女性アーティスト・デザイナー・教育者などを輩出。大村智理事長は1997～2003年に第7代、2007年～現在まで第10代理事長をつとめる。

講演会 私と美術との係り 6/27(土) 16:40～17:40

事前申込
必要

出演：大村 智 学校法人女子美術大学理事長、葦崎大村美術館館長
申込方法：下記を明記の上、TEL・FAX・メールのいずれかでご連絡ください
①イベント名 ②氏名 ③参加人数 ④住所 ⑤電話番号
費用：無料 ただし入館料は必要
人数：150名程度（先着順）

JAM 女子美アートミュージアム

〒252-8538 神奈川県相模原市南区麻溝台1900
女子美術大学 相模原キャンパス
TEL：042-778-6801
FAX：042-778-6815
メール：bsk@venus.joshibi.jp

交通案内

- ①小田急線相模大野駅北口3番バス乗場から「女子美術大学」行きで約20分、終点下車
※平日・土曜日午前10時前は伊勢丹デパート横グリーンホール前4番バス乗場より乗車
 - ②JR横浜線古淵駅2番バス乗場から「女子美術大学」行きで約15分、終点下車
- 車でご来場の方は隣接する市立相模原麻溝公園内の各駐車場をご利用ください。

